

「海外が求める日本大衆文化研究の ための教科書とはなにか」

教科書制作プロジェクト国際シンポジウム

日程：2017年11月5日（日）10:30～17:30

会場：国際日本文化研究センター 第1共同研究室

主催：国際日本文化研究センター・機関拠点型基幹研究プロジェクト
「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」

* 聴講希望者はメールをお願いします

* 連絡先・問い合わせ：プロジェクト推進室
taishu_staff@nichibun.ac.jp

■ 目的

大衆文化研究プロジェクトでは、2017年度よりプロジェクトの研究班4班を横断するサブチームを結成し、日本の大衆文化についての研究入門書として使用可能な教科書『日本大衆文化史（仮）』の制作に取り組む教科書制作プロジェクトを開始しました。この度は教科書プロジェクトのキックオフとして国際シンポジウムを開催いたします。その目的は海外で日本文化を学ぶ学生が日本の大衆文化の教科書に何を求めているのかという現状を探るところにあります。併せて、日本の大衆文化におけるそれぞれの時代、さまざまなジャンルを横断しながら考える機会にしたいと思います。

■ プログラム：[午前の部]10:30-12:00 [午後の部]13:00-17:30

[午前の部]

10:30 ごあいさつ

劉 建輝（国際日本文化研究センター副所長）

「日文研大衆文化プロジェクト・教科書制作プロジェクトについて」

10:40 キーノートスピーチ

秦剛（北京外国語大学教授）

「中日大衆文化交渉史」構築の可能性」

11:30 大塚英志（国際日本文化研究センター教授）「教科書制作についての報告」

12:00 昼食 * 註:併設のレストランは定休日、コンビニエンスストア徒歩10分強のため、昼食ご持参をお勧めします。

[午後の部]

13:00 **パネル1** 「海外の教育者から見る日本大衆文化教育の現状」

司会：前川志織（国際日本文化研究センター特任助教）

- (1) 金容儀（全南大学校日本文化研究センター所長/国際日本文化研究センター外国人研究員）

「韓国における日本大衆文化の教育の現状」

- (2) アーロン・ジェロー（イエール大学教授）

「米国における日本大衆文化の教育の現状」

- (3) マーク・スタインバーグ（コンコルディア大学准教授）

「北米における日本大衆文化の教育の現状」

ディスカッション

14:30 休憩

14:45 北京・香港・メキシコの日本大衆文化の学生について調査の報告

- (1) 大塚英志（国際日本文化研究センター教授）

「北京外国語大学日本語学科・北京日本学研究センター卒業論文・修士論文・博士論文を読む」

- (2) アルバロ・エルナンデス（国際日本文化研究センタープロジェクト研究員）

「メキシコと香港の聞き取り調査からの報告」

15:15 **パネル2** 「海外の学生から見る日本大衆文化教育の現状」

司会：アルバロ・エルナンデス（国際日本文化研究センタープロジェクト研究員）

- (1) Gouranga Charan PRADHAN（ゴウランガ チャラン プラダン）

（総合研究大学院大学 文化科学研究科 国際日本研究専攻 博士後期課程）

「インドにおける日本大衆文化史の研究—翻訳などの観点から」

- (2) 単 荷君（セン カクン）

（総合研究大学院大学 文化科学研究科 国際日本研究専攻 博士後期課程）

「上海と青島における日本大衆文化史の研究—植民地文化史の視点から」

- (3) 邱 大同（チュー・ダートン）

（ハイデルベルク大学(ドイツ) Transcultural Studies 修士課程）

「戦争記憶・記録と日本アニメの研究の可能性」の視点から見た報告

16:25 休憩

16:40 全体討議

司会：大塚英志（国際日本文化研究センター教授）

17:30 終了